



入学を祝して

歯学部長 前田 健康

平成30年度新入生の皆さん、入学おめでとうございます。新潟大学歯学部に入学された皆さんに、新潟大学歯学部の教職員を代表して、心からお祝いと歓迎の意を表します。また保護者ならびにご家族の皆様の方々にも心からお慶び申し上げます。皆様方のご期待にそえるべく、新潟大学歯学部でその能力をさらに大きく伸ばすことができるよう、私たち教職員も全力を尽くしたいと思います。

国立大学法人は第三期中期目標・中期計画期間に入り、今年度は第三期の3年目にあたります。緊縮国家財政が続く中、文部科学省は各大学、各大学の使命を明らかにするため、ミッションの再定義を行いました。その中で、私ども新潟大学歯学部の強みとして、「問題解決能力を持った歯科医師養成と国内外の人材養成モデルの構築」、「口腔のQOL向上を目指した基礎・臨床研究」、「有病・高齢者への対応や歯科再生医療の実践」があげられました。私ども新潟大学歯学部の教育スタッフは、課題探求・問題解決能力の育成を重視し、その後続く学習を通して、主体的に専門性を向上させる人材を養成することを目指しています。新潟大学歯学部の教育目標は、歯学・口腔保健福祉学の分野に貢献する専門職業人の育成ですが、新潟大学歯学部では「学生自身が自ら学ぶ」ということを教育の柱としていますので、教育への諸君の積極的な参加が求められます。新潟大学歯学部の教育の主役は、教員ではなくて、学生諸

君であるということです。自ら努力して勉強しなければ、皆さんが望む成果を得ることができません。自己の目標達成のために、切磋琢磨し、たゆまぬ努力をお願いします。

また、新潟市は1858年の日米修好通商条約により、函館・横浜・神戸・長崎ともに世界に向けて開港した海港都市で、進取の精神に基づいた町です。現代はグローバル社会となり、ボーダーレスな環境の中での人材育成が期待されています。私ども新潟大学歯学部でも在学中から夏期、春期休暇を利用した学生の短期海外派遣を行い、毎年、約30名の学生がアジア各国、アメリカ、カナダ、スウェーデン、さらに今年はブラジル等の諸外国に出かけ、自己研鑽を行っています。是非、在学中にthe enterprising spirit of a port city opened to the worldを持って、海外に旅立ち、広い視野を持って下さい。一步を踏み出す勇気が必要で、自発的な気持ちがなければ、意義のある大学生活を送ることはできません。

勉強の話ばかり致しましたが、20代前後のこの時期、勉強ばかりだけでなく、クラブ活動、ボランティア活動などさまざまな社会経験をし、歯学部以外にも多くの友人を作り、教養のある社会人となるよう人間性を磨いてください。そして、社会の期待に応える医療人を目指し、これから充実した学生生活を過ごし、卒業時に、平成30年度新入生および保護者の皆様全員でまた朱鷺メッセで喜びを分かち合いたいと思っております。



歯学部入学おめでとう

医歯学総合病院 副院長 小林 正 治（歯科担当）

難関を突破され歯学部歯学科ならびに口腔生命福祉学科に入学された平成30年度新入生の皆さん、入学おめでとうございます。これからの歯科医療ならびに社会福祉を担うべく全国から集まってきた皆さんを心より歓迎いたします。

皆さんは今、大学入学という一つの目標を達成し、晴れて新潟大学歯学部の学生となったわけですが、これはあなた方が1枚の切符を手に入れたということでもあります。この切符の終着駅は卒業式になります。この切符を使って何をすべきか、そして自分が何者になりたいのかを、よく考えてください。大学での生活は、皆さんがこれからの人生を生きていくための基礎を固める時期になります。是非、高い志を持って、学業に励んでいただきたいと思います。

新潟大学医歯学総合病院は、特定機能病院として地域の中核的医療及び高度医療を担う基幹病院でありますとともに歯学部医学部の教育病院でもあり、多くの優秀な医療人を輩出してきました。本院の理念は、「生命と個人の尊厳を重んじ、質の高い医療を提供するとともに、人間性豊かな医療人を育成する」というものであります。われわれは、優秀な医療人を育てたいと考え、様々な教育プログラムを用意し、全国モデルとなる充実した歯学教育を実施しています。皆さんにも、1年生の時から早期臨床実習として実際の医療の現場に立っていただきます。ここでは、医療人になる

ための心構えを形成し、医療の本質である「患者さんの視点に立つ」という意味を実感していただく目的があります。また、見学実習を通して、医療行為に必要な知識や技量を観察し、これからの基礎歯学・臨床歯学学習に対するモチベーションを向上させ、医療人としてのあるべき態度を肌で感じ取ってほしいと考えています。

シェークスピアの言葉に、「人は心が愉快であれば、終日歩んでも嫌になることはないが、心に憂いがあれば、わずかな歩みでも嫌になる。人生もこれと同様で、人は常に明るく愉快な心をもって人生の行程を歩むべきである。」というものがあります。是非、歯学部にとどまらずサークル活動やボランティア活動など様々な経験を通して幅広い多くの友人を作ってください。そして、仲間と大いに食べ、大いに飲み、大いに語らって、愉快な心をもって大学生活を送っていただきたいと思います。そして、挫折を恐れずに様々なことに挑戦していただきたいと思います。挫折は、挑戦した人だけが味わえる特権です。また、その経験が自信と勇気になり、人間として大きく成長させてくれます。知識や技術だけでなく、心も豊かになるよう自分自身を磨いていただきたいと思います。皆さんが、大学での歩みの中で、良き友に巡り合い、良き師に恵まれて、自らの豊かな道を切り拓き、そして皆そろって卒業式の日を迎えることができることを願っています。